

同期会(海洋工学科2期)の報告

岩崎公平

私たち50人が入学したのが昭和50年、そして今年が昭和100年、入学してからちょうど半世紀の節目に当たり、「集まろうやないか!」ということになりました。

昭和50年頃は、折しも国連国際海洋法会議にて200海里経済水域(現在は排他的経済水域EEZと呼ばれています)が制定され、国土の小さいわが国は国土の1.2倍の水域を持つこととなり、水産、海底油田・鉱物の海洋資源開発が期待される時代へ突入しました。また高度成長期に海洋汚染が顕在化し、原因究明と対策が急務となりました。

そんな国内外の情勢の下、全国でも珍しい「海洋工学科」が愛媛大学に開設され、「これからは海の時代だ!」と海洋開発や海洋環境研究に夢を抱く者達が全国から集いました。

卒業後はマリコンを含むゼネコン、海洋土木、コンサル、重機、気象などの会社へ多くの者が就職しました。

卒業して50年が経ち、今回、室、山口、柏谷、武岡先生の恩師4名にお越し頂き、同期18名が集まりました。



卒業後、初めて再会した者もあり、「俺は〇〇やけど、お前は誰や?」との会話も。先生方含め各人が近況報告をしました。各人の話は年齢的に、健康や病気の話が多くなります。同期の者は多くは現役を引退していますが、まだ現役で活躍している者もいます。

ただこの日ばかりは全員、50年前にタイムスリップし身も心も学生時代に戻り、昔の思い出話に花を咲かせてワイワイやりました。二次会まで、楽しい時間はあっという間に過ぎました。

7名は、翌日、元気にゴルフをし、スコアはともかく友情をさらに深めました。

